



VARNER

スピーディな商品化でマーケットをリードする方法

CENTRIC PLMがVARNERのグローバルなビジネス戦略推進をサポート

「Varnerでは家族経営の文化を大切にしており、様々なブランド間でサービスを共有することで一貫性を保っていますが、商品開発については、改善の余地がありました」

ビジネスアプリケーション部門長のOlav Fyldeng氏は、多くの小売業と同じ悩みを抱えていた時のことを覚えています – いったい次は何が起こるの？

「過去10～15年の間にビジネスが大きく成功しましたが、常に進化し続けなくてはならないというプレッシャーを抱えていました。この先3～4年でより多くのビジネスがオンライン販売に移行すると予想していましたが、それにより消費者の要求はますます高くなり、より手頃な価格で品質の高い商品を次々と求めるようになっていきます。商品開発に関しては、ITとビジネスのギャップを埋めておかないと、厳しい競争に打ち勝つことはできないと感じていました」



ノルウェー仕立てのファストファッション

ノルウェーのオスロに拠点を置き、スカンジナビア半島を代表する衣料品小売り企業のVarnerは、創業者のFrank Varner氏が1962年にオスロに衣料品店の1号店を開いて以来、オスロを拠点にファミリービジネスを行ってきました。1号店が成功を収めたことで、続いてトロンハイムにも店舗を開き、「Dressmann」という名前でノルウェー各地に記録的なスピードで次々と店舗を開設していきました。現在ではVarner一族の2代目・3代目がビジネスを引き継いでいます。

数十年の間に、Varnerは複数のアパレル企業を買収し、現在ではBik Bok・Carlings・Cubus・Days Like This・Dressmann・Urban・Vivikes・Volt・Wow・Levi's Stores スカンジナビア・Nike Stores スカンジナビアの10のブランドを所有しています。

そして、ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・アイスランド・ポーランド・ドイツ・オーストリアに1,500店舗を展開し、12,000の従業員が業務に従事しています。スカンジナビア半島のアパレル業界をリードする存在となったVarnerは、ファストファッションのスピード感で手ごろな価格の商品を販売することに注力しています。

またVarnerでは「サービスを共有する」ことを基本としており、IT部門やスウェーデンのペーナシュポリになる大規模配送センターなど、ブランド間で共通する部門やリソースを共有して使用しています。また生産もブランド間で共有し、220を超えるサプライヤを通して、世界16ヶ国500拠点以上の工場の商品を生産しています。

CENTRICを選択

さらなる成長を続けるために、VarnerはCentric SoftwareのPLMの導入を決定しました。ファッション業界での豊富な経験や導入実績、そして高い機能性がCentricを選ぶ決め手となりました。

現在Varnerは、商品開発を最適化して、目まぐるしく変わるトレンドに対応するために、Centricの製品ライフサイクル管理(PLM)を10ブランドで活用しています。

「今ではコストと商品の詳細をグローバルに比較することができます。すべてのブランドでPLM導入のメリットを感じており、PLMが商品開発とスピーディな商品化でマーケットをリードする存在になるための大きなサポートになると確信しています」

Centric PLMを導入したVarnerでは、商品の状況や全体像を把握できるようになったことで、サプライヤが事前に準備できるようになり、商品化のリードタイムを削減できました。さらに、より高い利益を出すための意思決定を行うことができるようになりました。Varnerはどのようにしてこれを実現したのでしょうか？



社内のスタッフ、特にデザイナーにとっては、新しいシステムの導入は不安もありましたが、スタッフ同士でより簡単に連携でき、機能が高く、業務を大幅に効率してくれるCENTRIC PLMを、みんな喜んで受け入れてくれました。



課題

- + 既存システムでは、急激な成長やブランド数の増加に対応できない
- + トрендやオンライン販売に対応したい
- + 革新的な商品を競争力のある価格で、スピーディに商品化したい
- + すべてのブランドの情報をまとめて管理したい
- + ITシステムとビジネスとのギャップを埋めたい
- + 10ブランドで5つのタイムゾーンにまたがる200名以上のスタッフが利用

Fyldeng氏は「独特の企業文化を持つ当社では、一般的なベンダー選定は行いませんでした。一般的には何か購入する際は、まず必要要件をまとめ、それに応じて商品を探しますが、当社ではそのようなプロセスを踏んで比較することなく、Centricに決めました。Centricを見たときに、これこそ当社に必要なソリューションだと思ったからです」と話します。

「成功するためにはパッションが必要だと思いますが、Centricは当社のメンバーに負けないくらいファッション・アパレルに対して情熱を持っており、業界での豊富な経験や実績が、それを裏付けています。Centricにはユーザーを喜ばせる仕掛けがたくさんありますが、素晴らしいのはインターフェースだけではなく、PLMを使いこなすためには、綿密に計画を立てる力が必要ですが、その点においてCentricはすぐれた力を発揮してくれます」

さらに、Centricの高い機能性が、Varnerの成功に大きく貢献したとFyldeng氏は話します。

「CentricのインターフェースはExcelに似ていて使いやすいので、ユーザーがすぐに使い慣れることができました。またCentricは、プログラミングが不要で導入後すぐに使うことができずし、Centricの経験に基づいたファッション業界のベストプラクティスが組み込まれています。デザイナー用のプラグインや、リアルタイムに連携するためのモバイルアプリもあり、本当に革新的なPLMだと思います」

「デザイン作成やサプライヤとのやり取りなど、当社のビジネスの基本となる部分を、PLMが“ブレイン”としてサポートしてくれます。当社では特にプランニング機能が重宝しています。Centric PLMがコストと利益をわかりやすく関連付けてくれるので、コストや利益に関する判断をスピーディに下すことができるようになりました」

導入結果

- + スケジュールより30%より早く、予算も30%抑えて最初の導入を実施
- + レポート機能で、機能性と効率を大幅に改善
- + ユーザーがすぐに使い慣れて、積極的に利用
- + ブランド間での連携と協業を強化
- + PLMがビジネスゴールの達成をサポート
- + 意思決定プロセスを改善し、“働き方2.0”を実現

働き方2.0

Varnerでは、すべての機能を一括でリリースするのではなく、各ブランドのペースに合わせて、シーズンごとに段階的にPLMを使い始めました。最初はCubusのレディース向けの下着部門とDressmannのコート部門でPLMを導入しました。

Fyldeng氏は「サプライヤを教育し、パートナーのCentricと一緒に要件を整理するという長期的なプロジェクトには、社内のスタッフにも参画してもらう必要がありました。PLMの導入を開始する2年前に、“わたしたちの働き方”という名前で現行のプロセスやマイルストーンを定義していましたが、Centricはそれをさらに進化させ、“働き方2.0”を実現するためのサポートをしてくれました」と語ります。

「最初の導入は、スケジュールを30%前倒して、予算も30%下回っていたので、素晴らしいスタートを切れました。社内のスタッフ、特にデザイナーにとっては、新しいシステムの導入は不安もありましたが、スタッフ同士でより簡単に連携でき、機能性が高く、業務を大幅に効率してくれるCentric PLMを、みんな喜んで受け入れてくれました」

「今では10以上のブランドで、5つのタイムゾーンにまたがる200名のユーザーがCentric PLMを利用しています」とFyldeng氏は続けます。

「次の目標は、サプライヤにもPLMを使ってもらうことです。単なるITプロジェクトではなく、ビジネス全体の変更も含めてPLM導入を進めており、すべてのブランドの情報を一カ所にまとめ、協業できる形で管理できることに大きなメリットを感じています」

導入からそのメリットを実感するまで

「今後は当社のビジネスゴールにあわせて、Centric PLMを活用していきたいと思います。PLMをフル活用して利益を増やす方法もわかってきました。たとえば、サプライヤに共有する情報の質を向上することで、サプライヤが早い段階で準備を開始することができ、リードタイムを短縮することができました。また、PLMで承認済みの素材リストを管理することで、調達コストや素材探しに使う時間を削減することができます」

「Centricは本当の意味でのパートナーだと感じています。単なるITベンダーではなく、当社のパートナーとして共に課題に取り組んでくれる企業を求めています。Centricとは、プロセスを可能な限り簡素化して、プロセスに沿ってユーザーをうまく誘導するためのシステムを構築するというビジョンを共有できています」とFyldeng氏は締めくくります。





VARNER

北欧をリードするアパレルメーカーVarnerは、ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・アイスランド・ポーランド・ドイツ・オーストリアの8か国に1,500店舗を展開し、約12,000人の従業員が業務に従事しています。

そしてBik Bok・Carlings・Cubus・Days Like This・Dressmann・Urban・Vivikes・Volt・Wow・Levi's ストア・Nikeストアのブランドを展開しています。

1962年に創業者のFrank Varner氏が家族経営のビジネスをスタートし、現在では2代目と3代目にあたるPetter氏、Marius氏、Joakim氏のVarnerファミリーが事業を引き継いでいます。

CENTRIC SOFTWARE

シリコンバレーを拠点に、世界にオフィスを展開しているCentricは、ファッション、小売り、フットウェア、ラグジュアリーブランド、アウトドア、コンシューマグッズ業界の多くの企業のデジタルトランスフォーメーションをサポートしています。マルチデバイスでタッチ操作できるデジタルボードCentric Visual Innovation Platform (Centric VIP) は、商品戦略の策定やアイデア作成の作業をデジタル化し、クリエイティブな商品をスピーディにマーケットに投入するサポートをします。そして、代表的な製品ライフサイクル管理 (PLM) ソリューションCentric8は、変化の激しいお客様の環境に合わせた販売計画、商品開発、調達、事業計画、品質管理、コレクション管理の機能を備えています。中小企業向けにも、革新的なテクノロジーと業界の専門知識に基づいて設計されたPLMソリューション Centric SMBを提供しております。さらに、Centricは世界初となるPLM用モバイルアプリを開発しました。

また、Centricは2018年のFrost & Sullivan 小売り・ファッション・コンシューマグッズ業界プロダクトリーダーシップアワード、2016年の小売り・ファッション・アパレル業界向けPLM部門グローバル ディファレンシエーション エクセレンス アワード、2012年のアパレル向けPLMプロダクト ディファレンシエーション エクセレンス アワードなど、数々のアワードを受賞しており、米Red Herring社が世界で最も革新的なテクノロジーベンチャー企業に贈るRed Herring Top100 Globalを2013年、2015年、2016年の3度に渡って受賞しています。

 CentricSoftware™



www.centricsoftware.com

©2018 Centric Software. 全著作権所有。CentricはCentric Software社の登録商標です。
また他のブランド名や商品名は各ブランドの商標登録である場合があります。